



ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健

R7学校スローガン

笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/kivosedaijyuuuueakku/index.htm>

ひのえうまどし

丙午年、本年もよろしくお願ひいたします。

新しい年を迎え、生徒の皆さん、保護者・地域の皆様におかれましては、希望に満ちた一年をスタートされたことと存じます。

松の内(～1/7)が過ぎていきますので、新年のご挨拶をするのは、すこし的外れになりますが、生徒の皆さん一人ひとりが自分の目標に向かって努力し、一步一步、しっかりと成長し、充実した

日々を送れるように、教職員一同、全力でサポートしていきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

謹賀新年

旧年中は大変お世話になり
誠にありがとうございました
新年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます
皆様にご多幸を心よりお祈り申し上げます



さて、2学期の終業式で、「午年に、挑戦することを考えよう」との話をしましたが、今年は「丙午」の年です。干支(えと)と言えば、「子(ね)丑(うし)寅(とら)卯(う)…」という十二支(じゅうにし)を思い浮かべますが、もうひとつ、「甲(きのえ)・乙(きのと)・丙(ひのえ)・丁(ひのと)…」という十干(じっかん)があり、本来はこの2つの組み合わせの60パターンが繰り返され、同じ干支は60年に1回となり、今年はその中で、丙午の年となります。「ひのえ」は太陽の輝きや勢い、「うま」は豊作や躍動を意味し、60パターンある干支の中で、もっともエネルギーに満ちて躍動して、成果が得られる良い年とのことです。丙午年を変化のチャンスと捉えて、新たな挑戦を始める年にとするとよさそうです。

「光陰矢の如し (こういんやのごとし)」

「光陰矢の如し」という言葉がありますが、「光」は陽・日・昼、「陰」は影・月・夜を意味しますので、光陰の意味は「時」です。月日は矢のように、ピュン!と過ぎ去り、放たれた矢と同じように二度と戻ってこないの、一日一日を大切にしろという意味で使われます。出典はわかりませんが、平安時代からは使われていたようです。1月はすでに1週間が終わり、2月は28日しかありません。そして3月は、19日が卒業式、25日が修了式ですので、3年生の3学期はあと10週間、1・2年生は11週間、日にちを数えてみると、70日と76日です。日にちを数えてみると、そんなものかとドキドキしてしましますが、慌ててバタバタしてもいけません。弓矢のように、しっかりと的を見据えて、弦をいっぱい引き、エネルギーをため矢を射れば、的を外さずに目標を射抜くことができます。今年は始まったばかりですが、令和7年度のゴールはあと少しです。馬に乗り、走りながら弓矢で的を射る流鏝馬(やぶさめ)のように、丙午の令和8年は、一日一日を大切に、次々に現れる目標1つずつに、しっかりと矢を放ち、良い年にしてください。3年生の皆さんが、最初の大きな的のど真ん中に矢が当たることを願っています。



生徒会プレゼンツ Xmas Kahoot! 大会

2学期もあと1週間となった12/22(月)の昼休みに、生徒会が企画するゲーム大会が開催されました。各教室をオンラインで繋いで、海外で学習向けに開発されたkahoot!(教育ゲームプラットフォーム)を使い、学級対抗で4択ゲームに挑戦しました。問題は生徒会と、十小児童会が作成してくれた十小に関する内容でした。立案から実施・進行まで生徒が中心となり、教員はお手伝い、昼休みに開催して、生徒の参加は自由という設定も、主体性を重んじる五中らしい企画です。どの教室も、一問一問の正誤に一喜一憂して盛り上がっていました。最終結果の詳細は1月の生徒会広報「Sun Flowers」で発表され、生徒会朝礼で表彰があるそうです。

しかしながら、学校にGIGA教育が導入されて5年になりますが、タブレットもすっかり道具のレベルとなってきました。ここ数年、いや月単位でのAIの進歩も目覚ましく、来年度から清瀬市次期教育情報化推進計画が始まりますが、ますます学校教育にICTが根付いてきそうです。



<https://www.youtube.com/watch?v=4m0w11o4ez8>



動画限定公開中!

～1/23(金)
HP 先行公開

■清瀬五中生の活躍のご紹介 おめでとうございます！

【R7年度 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール】 東京都学校歯科医会

中学校の部 佳作 1年生

【R7年度 歯と口の健康啓発標語コンクール】 東京都清瀬市歯科医師会

入選 1年生（1年生）

【税についての作文・標語】 全国納税貯蓄組合連合会及び国税庁

●税についての作文

東京都立川都税事務所長賞 3年生 題名「税金に見合った幸福度」

●税の標語

清瀬市商工会会長賞 3年生 標語「税のこと 知って広げて 深めよう」



【第74・75回 “社会を明るくする運動” 作文コンテスト】 北多摩北地区保護司会清瀬分区分

※清瀬市内選考会により、上位の東京都推進委員会作文コンテストに、推薦されました。

推薦賞 1年生

※本年度開催の「ひまわりコンサート」にて、発表をしてくれました。

推薦賞 1年生

※来年度開催される「ひまわりコンサート」にて、発表する予定です。

【薬物乱用防止ポスター】 東京都薬物乱用防止推進清瀬地区協議会

佳作 2年生、 佳作 2年生、 佳作 2年生 3名



※家庭配布版では、生徒氏名をご紹介しています。

《2 学期終業式 学校長の話 + α》 ※一部内容を加筆しています。

巳年（みどし）の一年を振り返ると、たくさんのことが頭をよぎり、反省することばかりです。「振り返り」と「反省」は、少し意味合いが異なります。反省は、失敗や悪かったことについて焦点を当て、二度と起こさないように肝に銘ずることです。振り返りは、良かったことも、失敗したことも、同じように整理をして、なぜ、上手くいったのか、どうして、上手くいかなかったのか、について分析をして、次にどうするのか、その先のことを考えることが、ポイントです。

12/22(月)、JAXA の人工衛星打ち上げが失敗しました。開発中の新しいH3 ロケットでしたが、2回目の失敗です。数百億円する人工衛星みちびきを失うという残念な結果で、関係者から、原因究明の難しさや開発が遅れることを心配する声が上がっています。しかし、失敗そのものを非難する発言はあまり聞かれません。SNS などでは手厳しいご意見をされる方もいるようですが、新しい技術に挑戦している宇宙開発の世界では、「失敗を許容する文化」があるそうです。原因を究明して、次の成功につなげることを重要視するそうです。

150年くらい前に、電球や蓄音機を発明したエジソンは、実業家でもあり、失敗という言葉が嫌いで、人に言われるたびに「上手くいかなかったことの発見であり、それが成功につながる」という言い方をしていたそうです。30年くらい前に世界を驚かせた、日本の発明家であり実業家の松下幸之助さんは、「失敗をしたところでやめると、失敗になる。成功まですることで、成功になる」と言っています。エジソンはアメリカのGE（ゼネラル・エレクトリック）、松下さんはパナソニックという日米を代表する企業の創始者であり、起業家としても優れていた方々です。両者とも、失敗を、肯定的にとらえて、次につなげるという信念を持っていたようで、本校の校訓は「継続は力なり」ですが、粘り強く、続けることが大切だとも考えておられたようです。

本田技研工業の創始者、本田宗一郎さんも「成功とは仕事の1%でしかなく、失敗と呼ばれる99%があって、やっと生まれる」と言っています。1950年代にバイク製造から始まった会社は、16年後に自動車、2015年には飛行機販売も始め、30年前には、世界初の人間型二足歩行ロボットを開発して世界を驚かせました。そして2019年より、再使用型ロケットの開発を始め、6年後の2025年6月に、日本初となる垂直離着陸の実験に成功したそうです。現在日本では、宇宙ビジネスに挑む民間企業が100社以上に増え、ロケットや探査機を開発しているベンチャー企業も多々あるそうです。多くの会社がまだ99%の中なのですが、あきらめずに頑張りたいと思います。そういえば、本校のそばに気象衛星センターがありますが、清瀬と人工衛星みちびきが、電波で繋がっていると想像すると、ちょっとワクワクします。

さて、新年が始まりました。失敗すること、上手くいかないことは織り込み済みにして、令和8年「うまどし」のこの1年で、何に挑戦するのかを考えて下さい。3年生はとりあえず、受験です。この冬休み、やり切ったと思えるぐらい勉強して、頑張ったという事実を、自信にして、入試に挑んで下さい。

